

実践教育・心理検査基礎講座

—教育・心理検査の理解と活用—

期日 2024年 8月4日(日)・5日(月)

会場 東京都千代田区 日本教育会館 第一会議室・8階

ねらい

近年、児童・生徒と学校をとりまく環境は、大きな変化を余儀なくされてきました。不登校やいじめへの対応、さらには貧困など、課題は複雑化・多様化しています。これまで以上に、学習指導の工夫や、学力の確実な定着、多様な児童・生徒への対応が求められています。

このような学校教育を取り巻く状況を踏まえ、本講座では各種教育・心理検査の講義や事例紹介などを行っていきます。これらを通して、各検査の意義や活用のための基礎的・基本的な事項を研修していただき、その結果として、本講座の内容が実際の指導や評価の場面で役立てられることを目的とします。

主催 一般社団法人 日本図書文化協会
一般財団法人 応用教育研究所
日本教育評価研究会

後援 NPO 日本教育カウンセラー協会

開催に関して 本講座に関する情報は変更の可能性がございます。図書文化社 HP にて最新情報をご確認ください。

日時	テーマ	内容	講師
8月4日(日)	9:30 ~ 9:40 開講の挨拶		
9:40 ~ 11:00	教育・心理検査概説	教育・心理検査の分類、主要な検査、検査の実施方法、結果の表示方法と読み取り方などについて概説する。	法政大学教授 服部 環
11:15 ~ 12:30	NINOとKABC-IIから 認知能力検査の活用を考える	児童生徒の学力向上のため、認知能力検査をどう活用するかについて、集団式NINOと個別式KABC-IIをもとに考える。	東京家政大学教授 平山 祐一郎
13:30 ~ 14:45	学力向上に生かす教育・心理検査と そのバッテリー利用	標準学力検査「NRT」「CRT」について、その特徴を述べ、さらに他検査とのバッテリー利用を解説する。	一般財団法人 応用教育研究所副所長 堀口 哲男
15:00 ~ 17:00	Q-Uを活用した 学級集団づくりと学力向上	児童生徒理解が学級集団づくりと学力向上につながる。Q-Uを活かした児童生徒・集団理解について解説する。	会津大学教授 苅間澤 勇人
8月5日(月)	9:30 ~ 11:30 第一分科会 A 学校における教育・心理検査の活用例	授業と家庭の学びをつなぐ指導「学び方教室」のすすめ…アセスメントと自己調整学習に必要な学び方の育成…	上峰町公民館長 西九州大学非常勤講師 池之上 義宏
12:30 ~ 14:30	B 個別認知能力検査 KABC-IIの理論と実習 第二分科会 C 学びのエンゲージメントテスト(ET) の理論と実際	KABC-IIを実際にふれて実習しながら、認知処理様式と習得度のアセスメントについて学ぶ。 「主体的に学習に取り組む態度」を子どもの側から測定する「学びのエンゲージメントテスト(ET)」について解説する。	山梨大学准教授 永田 真吾 一般財団法人 応用教育研究所理事長 筑波大学名譽教授 櫻井 茂男
14:45 ~ 16:00	D 個別認知能力検査 KABC-IIを指導に活かす チーム学校によるガイダンス カウンセリングとアセスメント	KABC-IIなどの心理検査を、子ども、保護者、学校にどのようにフィードバックするか、実習を行う。 「チーム学校」のねらいとつくり方を説明し、チーム学校の軸となるすべての子どもへのガイダンス カウンセリング(スクールカウンセリング)とその基盤となるアセスメントについて解説する。また 2022年12月6日に出された「生徒指導要領」の改訂版についても、チーム学校の視点から触れる。	和光大学教授 熊上 崇 東京成徳大学特任教授 筑波大学名譽教授 石隈 利紀

(注) 第一分科会はA,Bのいずれかを選択受講していただきます。第二分科会はC,Dのどちらかを選択受講していただきます。各分科会とも定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

2024年4月現在

対象

小学校・中学校・高等学校の先生／教育委員会・教育研究所の指導主事・所員等

定員

250名(全席自由席)

定員になり次第締め切ります。受付状況は事前にHPをご確認ください。当日会場での申込はお断りいたします。

申込・入金締切

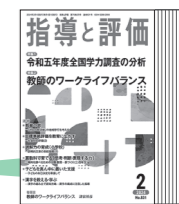
2024年7月12日(金)

郵送申込：締切日必着
Web申込：締切日の15:00まで

受講料

7,000円(資料代含む。全日受講者には後日修了証を発送いたします。)

- 日本教育評価研究会会員・日本教育カウンセラー協会会員は6,000円
 - 第66回指導と評価大学講座と同時申し込みは本講座4,000円
 - 本講座受講と日本教育評価研究会入会*との同時申し込みは計11,400円
- *講座開始10日前までにキャンセルのご連絡をいただき所定の手続きが済んだ方には手数料2,000円を差し引いた金額を返金いたします。



*年会費5,400円分
機関誌「指導と評価」毎月送付

備考 ●講義資料は当日、会場にてお渡しします。●会場には駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。●講座中、大きなお手荷物をお預かりしています。貴重品や管理が難しい場合はお預かりできかねますのでご了承ください。●当日の欠席・遅刻に関しまして、ご連絡は不要です。

●受講者の声

昨年開催された実践教育・心理検査基礎講座では、全国37都道府県からお申込みをいただきました。ご回答いただいた受講者アンケートの一部をご紹介します。

個別検査、集団検査の概要や活用例を具体的な例を提示しながら説明していただけて分かりやすかったです。

(青森県・小学校教諭)

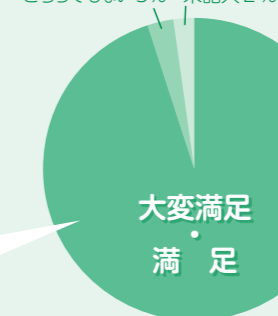
初めての参加でしたが、心理検査のフィードバックについて知ることができて良かったです。実施するだけではダメですね。

(大阪府・中学校教諭)

Q-U、KABC-IIについて専門の先生方から貴重なお話を「対面で」聞くことができて大変満足だった。

(島根県・高等学校教諭)

どちらでもない3% 未記入2%



受講者満足度

95%



*受講者名簿を後援団体に報告する場合があります。予めご了承ください。名簿記載を希望しない場合は申込書備考欄にその旨ご記入ください。

第48回 (2024) 実践教育・心理検査基礎講座 受講申込書		No. _____
フリガナ氏名	<input type="checkbox"/> 自宅住所 〒 _____ ☎ _____	第一分科会はA,Bのいずれかを、第二分科会はC,Dのどちらかをそれぞれ選択してください。
勤務先	<input type="checkbox"/> 勤務先所在地 〒 _____ ☎ _____	
役職・担当	メールアドレス _____ @ _____ *申込完了メールなどをお送りしますので、通常お使いのアドレスをご記入ください。	第一分科会 <input type="checkbox"/> A 学校における教育・心理検査の活用例 <input type="checkbox"/> B 個別認知能力検査 KABC-IIの理論と実習
支払金額 一般	<input type="checkbox"/> 7,000円 <input type="checkbox"/> 6,000円 <input type="checkbox"/> 11,400円 <input type="checkbox"/> 4,000円	第二分科会 <input type="checkbox"/> C 学びのエンゲージメントテスト(ET)の理論と実際 <input type="checkbox"/> D 個別認知能力検査 KABC-IIを指導に活かす
振込名義	日本教育評価研究会の <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 新規加入 支払方法 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行振込	(備考欄)
*郵便振替・銀行振込にてご入金いただく方で、お申込み名義と振込名義が異なる場合はご記入ください。		

個人情報について 申込時にいただいた個人情報の利用目的は、(1)お申し込みいただいた講座受講・機関誌提供。(2)上記に関するご案内・情報提供。(3)教育に関するアンケートやモニター調査などの協力依頼。(4)その他教育事業に関する研究・企画開発への利用、に限りです。

必ず希望する分科会を選択(□にチェック)してください。

法政大学教授

服部 環

8/4

教育・心理検査概説



筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了(教育学博士)。臨床心理学、精神医学、社会福祉を専門とする同僚に囲まれるなか、主に心理統計学と心理データ解析の講義を担当しています。

東京家政大学教授

平山 祐一郎

8/4

NINOとKABC-IIから認知能力検査の活用を考える



筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士(心理学)。作文・読書・知能・学習指導の心理学を研究。新聞10紙の書評欄を読むことが趣味。そのため毎週土日の朝に近所のコンビニに出現中。

一般財団法人 応用教育研究所副所長

堀口 哲男

8/4

学力向上に生かす教育・心理検査とそのバッテリー利用



埼玉県出身。教研式の教育・心理検査の開発に携わってきました。標準学力検査「NRT」「CRT」や、学習適応性検査、認知能力検査の作成を行ってきました。その間に、様々な調査を行いました。これらを使いながら、わかりやすく説得力のあるデータの提供を心がけています。

会津大学教授

苅間澤 勇人

8/4

Q-Uを活用した学級集団づくりと学力向上



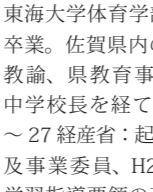
早稲田大学大学院博士後期課程研究指導終了退学。Q-Uを学級づくりや授業づくりに活用する取り組みを支援しています。全ての子を幸せに導く学校が増えることを目指しています。

上峰町公民館長
西九州大学非常勤講師

池之上 義宏

8/5

学校における教育・心理検査の活用例



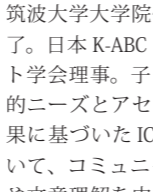
東海大学体育学部武道学科卒業。佐賀県内の小中学校教諭、県教育事務所勤務、中学校長を経て現職。H26～27 経産省：起業家教育普及事業委員、H28 文科省：学習指導要領の改善検討委員(中学校特別活動)、佐賀県中学校校長会会長等を歴任。現在、上峰町公民館長と西九州大学非常勤講師を兼務。

山梨大学准教授

永田 真吾

8/5

個別認知能力検査 KABC-IIの理論と実習



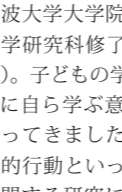
筑波大学大学院修士課程修了。日本 K-ABC アセスメント学会理事。子どもの教育的ニーズとアセスメント結果に基づいた ICT 活用について、コミュニケーションや文章理解を中心に研究しています。

一般財団法人 応用教育研究所理事長
筑波大学名誉教授

櫻井 茂男

8/5

学びのエンゲージメントテスト(ET)の理論と実際



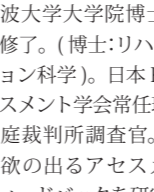
筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了(教育学博士)。子どもの学習意欲、とくに自ら学ぶ意欲の研究を行ってきました。共感や利他的行動といった思いやりに関する研究にも興味があります。1日に1回は外出、がモットー。

和光大学教授

熊上 崇

8/5

個別認知能力検査 KABC-IIを指導に活かす



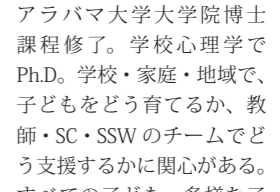
筑波大学大学院博士後期課程修了。(博士:リハビリテーション科学)。日本 K-ABC アセスメント学会常任理事。元・家庭裁判所調査官。元気と意欲の出るアセスメントとフィードバックを研究中。

東京成徳大学特任教授
筑波大学名誉教授

石隈 利紀

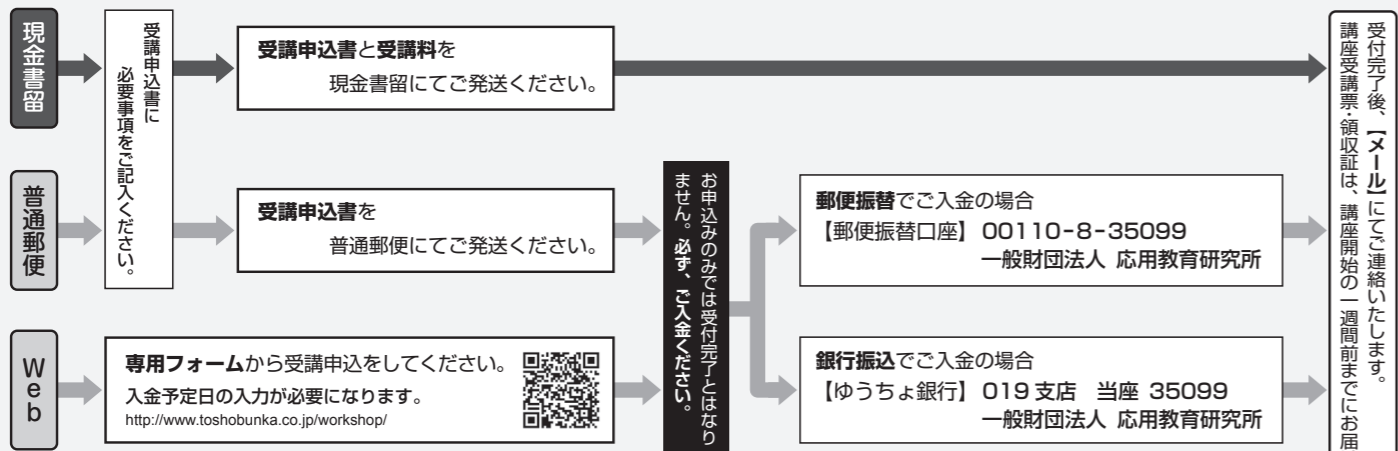
8/5

チーム学校によるガイダンス カウンセリングとアセスメント



アラバマ大学大学院博士課程修了。学校心理学で Ph.D。学校・家庭・地域で、子どもをどう育てるか、教師・SC・SSW のチームでどう支援するかに関心がある。すべての子ども、多様な子どもと今と未来を、チームで支えたい。

●申込方法 以下のいずれかの方法で、それぞれの手順に沿ってお申し込みください。
※郵送料、手数料はお客様のご負担となります。



●ご案内

日本教育評価研究会認定 心理検査士

日本教育評価研究会では、心理検査の実践と活用に指導的役割を果たしていただける方々を、「心理検査士」として認定いたします(要申請)。詳しくは事務局にお問合せいただくか、Web サイトをご覧ください。

- 日本教育評価研究会心理検査士認定事務局 TEL: 03-3943-2515
- ご案内 URL <http://www.toshobunka.co.jp/workshop/examiner.php>



先生のための 教育・心理検査相談室

講座開催期間中の休憩時間に教育・心理検査に関する相談室を開設いたします。各種検査の疑問点や実施後の活用方法など、お気軽にご相談ください。
※開設方法等は講座当日お知らせいたします。場合によって、開催を見送らせていただくことがあります。予めご了承ください。

●会場

日本教育会館 第一会議室・8階

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
TEL. 03-3230-2833 (道案内専用)

- 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅 (A1 出口) 下車徒歩 3分
- 都営三田線神保町駅 (A1 出口) 下車徒歩 5分
- 東京メトロ東西線竹橋駅 (北の丸公園側出口) 下車徒歩 5分
- 東京メトロ東西線九段下駅 (6 番出口) 下車徒歩 7分
- JR水道橋駅 (西口出口) 下車徒歩 15分

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15 アトラスタワー茗荷谷 3F
一般財団法人 応用教育研究所 実践教育・心理検査基礎講座 係

TEL: 03-3947-7031 (直通)
受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00
(土日祝祭日を除く)